地域支援コラム

　G小学校の支援学級にて音楽の出前授業を行いました。子どもたちの目は、普段見慣れない楽器にくぎ付けで、「これから何ができるのだろう」というような表情で始まりを待っている様子が印象的でした。はじめに行ったグループを作る活動では、２人組、３人組と人数が増えるにつれて楽しさも倍増し、ブギウギのリズムも手伝ってからだ全体で表現する子どもも見られました。音積み木やハンドベルを演奏する活動では、真剣な表情で音を出すタイミングを計っているようでした。また、声を出す活動は、歌いかけられた言葉を聞いて、小さな声やきれいな声を出していました。カホンを鳴らす活動は、「1，2，3，4，5，6，7！」と打つ数を大きな声で数えながら参加した子どもたちの一体感が味わえる活動となったようです。最後は、普段かかわりある先生方にも参加いただきトーンチャイムの演奏を聴きました。とてもきれいな響きに、子どもたちも音の余韻をしっかりと味わえたようです。

　後日、送っていただいたお礼の手紙から、「また来てください。」との声も聞かれ、楽しかった様子が伺えました。